

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日 (中間配当を実施する場合)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所

[マースジャーナル]

第37期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

Vol.9

マースガーデンウッド御殿場 2010年10月10日オープン! <http://www.mars-gw.jp>



東名御殿場インターに隣接するマースガーデンウッド御殿場。
緑豊かな約2,000坪の広大な庭園を臨むホテル、レストランの
諸施設。「すべてはお客様の寛ぎのために」の思いを胸に、
スタッフ一同、皆様をお迎えいたします。

ご予約・お問合わせは
0550-70-1170

マースガーデンウッド御殿場
〒412-0026
静岡県御殿場市東田中1089

 株式会社 マースエンジニアリング
〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL. 03-3352-8555(代)
URL: <http://www.mars-eng.co.jp>



株式会社 マースエンジニアリング

MARS Journal

パーソナルPCシステムと新規事業で更なる飛躍を

株主の皆様には、益々で健勝のこととお慶び申し上げます。当社の事業活動につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるパチンコ業界においては、従来に比べて少額で遊技ができる低貸玉営業が浸透し、遊技人口に改善の兆しが見受けられる一方で、日本経済の低迷を背景とした個人消費の冷え込みが当業界にも例外なく影を落としたように思われます。

そのような状況の中で、当社グループが提案する玉積み・玉運び不要の「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)」は着実に市場シェアを伸ばし、業界標準化に向けて確かな手応えを感じております。追従する競合他社との価格競争から一定の距離を置くために、機能性や利便性の強化で付加価値を高めることが最大の差別化だと考えており、下期より新製品のパーソナルⅣや新Air紙幣搬送Hayate(疾風)、パーソナル新機能の本格的販売を見込んでおります。

RFID事業においては、展示会への出展を積極的に行い、異業種で確固たる導入実績を積み上げてまいりました。中でも学童施設を利用する児童の入退室情報を電子メールで保護者に配信する「児童安否システム」は公共施設に初導入され、関連協会からは賞を獲得するなど、大きな話題を呼びました。

当社の創業35周年記念事業である「マースガーデンウッド御殿場」においては、今年10月に開業し、RFID事業と共に新規事業として、今後の成長に期待しております。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 松波 明宏

当中間期の業績

当第2四半期連結累計期間(中間期)の業績は、売上高128億22百万円(前年同期比17.3%減)、営業利益は28億14百万円(同31.7%減)、経常利益は30億48百万円(同28.4%減)、中間純利益は10億69百万円(同59.4%減)となりました。

[アミューズメント関連事業]

●プリペイドカードシステム

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、「パーソナル」を主軸システムとして拡販しています。パーソナルは、ファミリープログラム(貯玉共有サービス)やコンテンツ配信サービス(パーソナルの有機EL画面に情報を配信)など機能性や利便性に優れ、他のシステムとの拡張性も高く、価格競争とは距離を置いた販売活動を展開してまいりました。

この結果、パーソナルの売上実績は114店舗、発売以来の累計導入(実稼働)店舗数は9月末時点で682店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は119店舗、導入(実稼働)店舗数は累計2,075店舗(市場シェア20.4%)となりました。システムの個別売上高は54億48百万円となりました。

なお、新製品のパーソナルⅣ、空気力で紙幣を搬送する世界初の新Air紙幣搬送システム「Hayate(疾風)」は、第3四半期より本格的に販売していく予定です。

●景品管理システム

当社グループが開発した景品管理システムは現在の業界標準となり、「景品管理のマース」としてのブランド力と高いシェアを

誇っており、パーソナル導入店や当社ユーザーへのリプレースを中心に販売を展開してまいりました。この結果、当システムの個別売上高は11億81百万円となりました。

●RFID

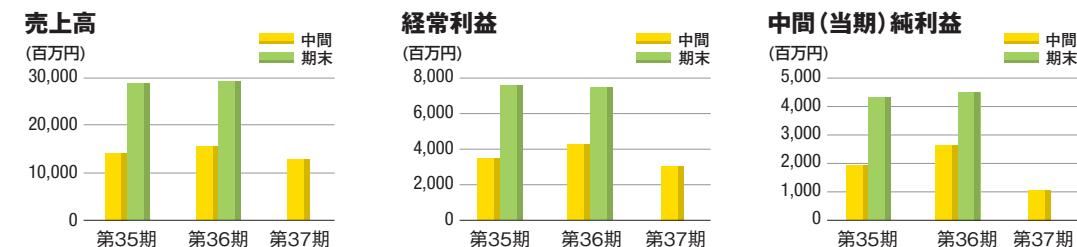
アミューズメント施設向け認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等を拡販していくため、展示会等への積極的な出展を行い、RFIDの新たな市場を模索してまいりました。学童施設を利用する児童の入退室情報を電子メールで保護者に配信する「児童安否システム」は公共施設で初導入となり、関連する協会から賞を受賞いたしました。また、外食産業向けに非接触ICカード多機能端末が初導入されるなど、多方面で広く導入実績を上げてきております。この結果、RFIDの個別売上高は5億98百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業の個別売上高は125億76百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

[ホテル関連事業]

ホテルサンルート博多は、同ホテルチェーンの中で表彰される程の質の高いサービスで高稼働を維持しておりますが、デフレ経済の進行による影響は大きく、厳しい状況が続きました。その結果、ホテル関連事業の個別売上高は2億46百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

なお、静岡県御殿場市において、初となるリゾートホテル「マースガーデンウッド御殿場」が竣工し、10月10日より開業いたしました。



更に進化した
パーソナルPCシステム **PERSONAL IV** 誕生!

当社で開発したパーソナルPCシステムは、時代の趨勢によって機能を高めてまいりましたが、近年更に高まるニーズに対して「PERSONAL IV」をこの度誕生させました。

計数機構は業界最高レベルの「PERSONAL II」をそのまま使うなど高い機能を有しながらも、よりシンプルに使いやすさを追求したシステムとなりました。

また同時に、PERSONALの機能も、これを機に更なる充実を図りました。パワーアップしたパーソナルPCシステムの今後にご期待ください。

主な
特色

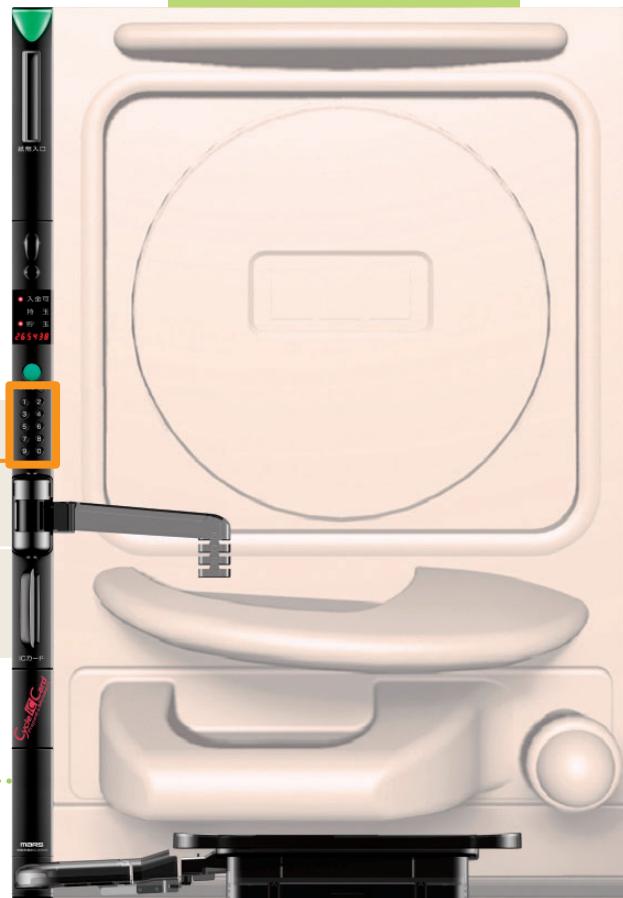
シンプルな7セグLEDとテンキーを採用。

テンキーを採用することで操作はシンプルに!ますます使いやすくなりました。

計数機構は業界最高レベルの「PERSONAL II」をそのまま使用。

PERSONAL機能充実の主なポイント

- ◎「アシスト機能」
遊技台入れ替えの際の試し打ちの時、玉補給作業を大幅に低減します。
- ◎「フリープレイ機能」
紙幣やカードを使用する必要がなく、プレオープンや無料開放遊技の時に大変便利な機能です。



K1-PS(IV)
MX-140K1-XLIII



Air紙幣搬送システムのニューバージョン
Hayate(疾風)登場!

マースでは、空気の流れで紙幣を運ぶ世界初の技術を駆使したAir紙幣搬送システムを既に導入してはいますが、より多くのホールに導入できるように更なる開発を重ね、ニューバージョンの「Hayate(疾風)」を登場させました。

最大の特徴は、500mm幅の島に対応できるようになったことで、既存のほとんどのホールの島幅に対応が可能となった点です。

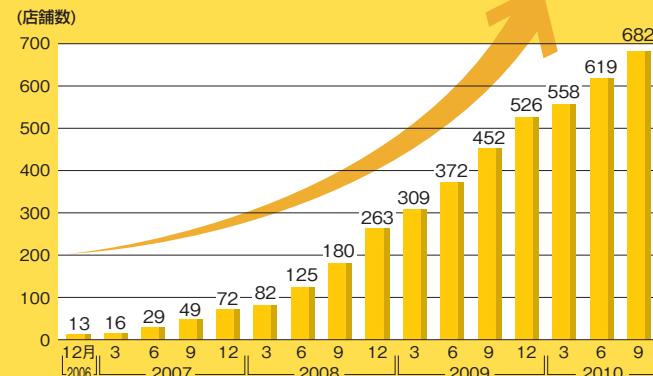
また、従来機同様に紙詰まりなどのシステムトラブルをなくしたことで、導入後のメンテナンスにかかる費用がほぼ0円となっています。

今までは島端金庫内の会計金額だけがカウントできましたが、この「Hayate(疾風)」では紙幣ごとに枚数までも管理することが可能です。

こうしたシステムの改良によって、ホールの負担を大きく軽減することにつながっています。



●パーソナルPCシステムの導入店舗数(累計)



パーソナルPCシステムを導入することで遊技ファンは利便性が向上し、質の高いサービスを受けることができます。ホール従業員は玉箱積み・玉箱運び業務から解放され、労働環境が改善します。ホール経営者は優秀な人材の確保や他店との差別化を図ることができます。

多くのメリットがあるパーソナルPCシステムは、全国各地のパチンコホールに支持され、導入店舗は増加しています。

パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。



丸三益田店様 [島根県益田市]

「豊かな余暇の提案により地域社会に貢献する企業」を経営理念に掲げる丸三グループ様は、ISO9001(品質の国際規格)やISO14001(環境の国際規格)、プライベートマークを認証・取得し、地域に密着した店舗づくりを展開。現在、島根県を中心に山口県や兵庫県で17店舗を運営しています。

7月にグランドオープンした「丸三益田店」様は、パーソナルPCシステムIの他、Air紙幣搬送やホールコンピュータなどトータルシステムで導入され、マースシステムを最大限に活用したサービスで地域の遊技ファンをもてなしています。

丸三益田店様のコメント

当店は、お客様が広々とした快適な遊技環境で、気持ちよく遊技していただけよう工夫を凝らし、その1つを担うアイテムとしてパーソナルPCシステムを導入いたしました。

マースのトータルシステムを導入したことで、パチンコもパチスロもカード1枚で台移動が容易にでき、お客様にも大変喜ばれています。休憩所にはウォーターステーションや雑誌・コミックコーナーを完備し、魅力のある店舗でお客様をお迎えしています。



プレイステーションタムラ香貫店様 [静岡県沼津市]

快適で優れたアミューズメント空間をお客様に提供する田村総業株式会社様は、静岡県内に5店舗を展開。3年前に系列店でパーソナルPCシステムを初導入されて以来、独自のノウハウを構築されてきました。

今年3月、沼津市にある「プレイステーションタムラ香貫店」様が、パチンコ全台にパーソナルPCシステムを採用されたことで、同社様の系列全店がパーソナルPCシステム導入店となりました。

お客様との接点を大切にする香貫店様は、常に地域社会の視点に立った、安心感のあるホールとしてお客様に親しまれています。

プレイステーションタムラ香貫店様のコメント

当店で、パーソナルPCシステムの導入で合理化を図り、スタッフの業務も変わりました。お客様からの「おつかい」サービス等を実施し、以前よりも充実したサービスの提供ができるようになり、お客様とのコミュニケーションの機会も増えました。

これまでに培った独自のノウハウを基に、「どこにもない、新しいパチンコの楽しみ」と「安心感」をお客様に提供できるお店づくりをこれからも目指してまいります。

TOPICS 1

マース新製品体感フェア 全国7箇所で開催

9月2日の本社ショールーム(東京)を皮切りに、福岡、広島、大阪、名古屋、仙台、札幌の全国7箇所で展示会を開催いたしました。

展示会では、パーソナルPCシステムの新しいラインナップ「パーソナルⅣ」、新Air紙幣搬送システム「Hayate(疾風)」、マーストータルシステムの新しい機能を披露し、新製品を体感していただきました。

各会場で出展したマース製品の数々に、来場された方々の熱い視線が注がれていました。



東京会場



福岡会場



大阪会場

TOPICS 2

ホテル&リゾート 「マースガーデンウッド御殿場」 オープン!

当社の創業35周年記念事業である「マースガーデンウッド御殿場」が、静岡県御殿場市で初のリゾートホテルとして2010年10月10日にオープンいたしました。

東名御殿場インターに隣接した同施設は、緑豊かな約2,000坪の広大な庭園を囲むように建てられており、ホテルをはじめ源泉掛け流しの天然温泉や四季折々の味が楽しめるレストランなど複数のリゾート施設を兼ね備えています。



Consolidated Financial Statements [中間連結財務諸表]

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間末 平成22年 9月30日現在	前中間連結 会計期間末 平成21年 9月30日現在	前連結 会計年度末 平成22年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	35,765,762	40,449,556	39,134,976
固定資産	21,172,863	16,043,295	18,315,022
有形固定資産	14,380,424	9,987,818	11,879,400
無形固定資産	210,814	124,119	188,596
投資その他の資産	6,581,624	5,931,356	6,247,025
資産合計	56,938,625	56,492,851	57,449,998
負債の部			
流動負債	12,212,555	13,650,091	13,199,035
固定負債	5,695,773	5,700,749	5,853,887
負債合計	17,908,329	19,350,841	19,052,923
純資産の部			
株主資本	39,362,193	37,615,396	38,846,034
評価・換算差額等	△331,897	△473,387	△448,959
純資産合計	39,030,296	37,142,009	38,397,075
負債純資産合計	56,938,625	56,492,851	57,449,998

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	12,822,439	15,503,848	29,319,307
売上原価	6,110,417	7,572,944	14,359,208
売上総利益	6,712,021	7,930,904	14,960,098
販売費及び一般管理費	3,897,924	3,809,721	7,619,131
営業利益	2,814,097	4,121,183	7,340,966
営業外収益	239,194	135,572	145,081
営業外費用	4,682	—	11,212
経常利益	3,048,609	4,256,756	7,474,835
特別利益	1,292	236,619	288,619
特別損失	1,262,732	11,609	21,144
税金等調整前中間(当期)純利益	1,787,169	4,481,766	7,742,310
法人税、住民税及び事業税	886,724	1,753,558	3,077,960
法人税等調整額	△169,151	80,800	140,553
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	1,069,596	—	—
少数株主利益	—	12,351	12,351
中間(当期)純利益	1,069,596	2,635,055	4,511,445

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,694,582	2,024,819	3,541,287
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,232,865	367,942	△2,204,236
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,516	△468,476	△1,114,223
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△4,052	—	683
V 現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△2,095,852	1,924,285	223,510
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	14,487,990	14,264,479	14,264,479
VII 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	12,392,137	16,188,764	14,487,990

Non-consolidated Financial Statements [中間単体財務諸表]

中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 平成22年 9月30日現在	前中間期 平成21年 9月30日現在	前事業年度末 平成22年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	14,690,723	19,387,212	17,195,727
固定資産	20,106,045	16,274,824	17,523,538
有形固定資産	7,987,428	3,939,355	5,791,386
無形固定資産	110,146	49,310	116,814
投資その他の資産	12,008,470	12,286,158	11,615,336
資産合計	34,796,768	35,662,036	34,719,266
負債の部			
流動負債	3,246,415	4,417,659	3,591,359
固定負債	543,272	642,762	661,446
負債合計	3,789,687	5,060,422	4,252,805
純資産の部			
株主資本	31,300,187	30,947,196	30,781,299
評価・換算差額等	△293,106	△345,581	△314,838
純資産合計	31,007,080	30,601,614	30,466,460
負債純資産合計	34,796,768	35,662,036	34,719,266

中間単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	9,366,608	12,503,585	23,159,815
売上原価	5,156,098	6,923,401	12,892,489
売上総利益	4,210,509	5,580,183	10,267,326
販売費及び一般管理費	3,321,660	3,256,268	6,494,819
営業利益	888,849	2,323,915	3,772,506
営業外収益	1,242,769	1,203,747	1,281,697
営業外費用	4,052	—	—
経常利益	2,127,566	3,527,663	5,054,204
特別利益	693	239,827	279,929
特別損失	1,067,651	10,271	748,784
税引前中間(当期)純利益	1,060,607	3,757,218	4,585,349
法人税、住民税及び事業税	96,249	1,058,175	1,703,447
法人税等調整額	△107,967	29,311	△267,685
中間(当期)純利益	1,072,325	2,669,732	3,149,587

株式の状況

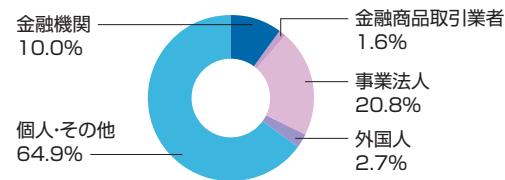
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	9,850名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,521	24.51
松波廣和	1,134	6.15
松波香代子	1,028	5.57
松波明宏	1,000	5.42
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	600	3.25
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	491	2.66
古宮重雄	490	2.66
五味輝雄	450	2.44
永井美香	432	2.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	430	2.33

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	503名(男457名、女46名)

役員

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役相談役	松波廣和
取締役	村上浩
常勤監査役	佐藤忠義
監査役	竹俣耕一
監査役	小林郁夫

執行役員

常務執行役員営業本部長	秋山裕和
常務執行役員管理本部長	佐藤敏昭
執行役員R&Dセンター長	佐野邦明
執行役員技術開発部長	井出平三郎
執行役員品質保証部長	名取満郎
執行役員営業企画部長	秋山学

MARS History (全10回)



どん底から、模索、挑戦。そして「離れ技」でミレニアムへ。

起死回生の思いで
プリペイドカード(PC)事業へ参戦!

パチンコ業界の不況は底が見えず、マースでも営業所の統廃合や社員の待遇面の低下を余儀なくされました。当時のパチンコ業界では、大手商社や行政まで巻き込んだプリペイドカード(PC)システムが市場を席捲していましたが、本業復帰でこの状況を打開しようとしていたマースは、このPCシステムに対抗すべく「会員貸玉システム」を開発していました。このシステムは既設のCRサンド※に併設する「ダブルサンド方式」で、使い捨てのPCカードではなく、繰り返し使用できる「サイクルカード」を使って遊技が楽しめるように開発していました。

PC事業は独占的な市場と考えられていたのですが、遊技台メーカーが市場参入していることが判明し、マースも市場参入が可能なおもわかりました。技術的には当社の会員貸玉システムを応用して、サンドをCR台に接続すれば解決するので問題はありせん。これが軌道に乗ればビジネスチャンスが大きく広がります。問題は、警察庁の外郭団体の保通協(保安電子通信技術協会)において審査を受け合格できるかどうか、と各都道府県の公安委員会の承認を得て販売できるかにかかっていました。

審査はパチンコ台一対に対して行われるため、あらゆるパチンコ台メーカーに協力をお願いしたのですが、どこも自社の得にならないことを理由に断られることの連続でした。とうとう万策尽きたかと思った矢先、当時のアルゼ株式会社の社長を通じてご紹介いただいた株式会社メシー販売にご協力いただけることになり、平成11年の5月には、ようやく当社の「MX-140K1」サンドがメシー販売のCRピーカンA機と一対で保通協に申請することができました。

2000年(平成12年)はマースが設立して26年。四半世紀にわたる幾多の試練を乗り越えたミレニアムのこの年に、それまでマースの社長として会社を牽引してきた松波廣和を会長に、古宮重雄を新社長とする新体制がスタートを切ることになります。

新体制最初の大事な1つは、カードリーダーの開発・製造を依頼した株式会社ウインテックをマースグループの一員として迎えたことでした。高まる知名度と高い技術力を武器にPCサンド販売は好調を博し、過去最高の増収増益達成という華々しい業績を飾りました。

※【CRサンド】CR機に取り付けられたサンドのこと。

CR機とは、プリペイドカードに対応したパチンコ遊技機のことです。CRはCard Readerの略とされています。この遊技機との間に挟まれた細長い機械がサンドです。台と台に挟まれたサンドイッチのようであることから、サンドと呼ばれています。遊技客は、このCRサンドにプリペイドカードを挿入して遊技を楽しみます。